

2026 年 10 月 15 日

報道関係各位

GMO プライム・ストラテジー株式会社

**企業の WordPress セキュリティ運用を自動化
「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」を提供開始**
～自動アップデート、無停止バージョンアップ、マルウェア対策をサポートサービス込み
月額約 5 万円から～

GMO インターネットグループの GMO プライム・ストラテジー株式会社（代表取締役社長 吉政 忠志、以下「GMO プライム・ストラテジー」）は、企業の WordPress サイトにおけるセキュリティ運用を自動化・省力化する WordPress 専用 OS「KUSANAGI」の企業向け新エディション「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」を 2026 年 10 月 15 日（木）より、主要クラウドマーケットプレイスおよび国内ホスティング事業者を通じて提供開始いたします。

脆弱性の公開から悪用までの期間が短縮し、AI を活用した攻撃も登場する中、Web サーバーのセキュリティ確保は顧客データの保護や事業継続性に関わる社会的課題です。特に WordPress は、国内上場企業が採用する CMS の TOP10 合計の約 84%を占める一方、企業ではセキュリティ人材の不足や運用の属人化が課題となっています。

「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」は、OS・ミドルウェアの自動アップデート、サイトを停止せずに行えるバージョンアップ、マルウェア対策などの多層的なセキュリティ機能と、サポートサービスを標準搭載。専門人材に依存しがちな WordPress のセキュリティ運用を効率化します。料金は 1 サーバーあたり月額約 50,000 円（税別）^(※1)です。中堅・中小企業（SMB）からエンタープライズまで企業規模を問わず利用でき、1 か月間の無料トライアルも用意しています。



（※1）ライセンス料・サポート料を含む、1 か月（720 時間）連続稼働時の料金。クラウドサービスの利用料金は別途必要です。
なお、「ConoHa VPS byGMO」利用した場合は製品紹介サイト経由でのお申込みに限りメモリ 8GB プランが 1 か月相当無料とな

ります。詳しくは製品紹介サイト (<https://kusanagi.tokyo/kusanagi-enterprise-edition>)をご参照ください。

【提供開始の背景】

Web サーバーは 24 時間 365 日インターネットに公開され、「企業の顔」として機能する一方、常にサイバー攻撃のリスクに晒されています。そのセキュリティの確保は、いまや顧客データの保護や事業継続性に直結する社会的課題です。

しかし、セキュリティ運用の現場では以下の構造的な課題が深刻化しています。

1. 攻撃の自動化・高度化

Google Cloud の Mandiant による調査では、脆弱性が公開されてから悪用されるまでの平均期間(TTE)は、2018～2019 年の 63 日から 2023 年には 5 日まで大幅に短縮しました^(※2)。さらに最新の「M-Trends 2026」では推定マイナス 7 日と、修正パッチの公開前に悪用が始まる状況が常態化しています^(※3)。加えて、AI を活用した攻撃手法も登場しています。攻撃対象は OS、ミドルウェア、CMS、プラグインなど多岐にわたり、いずれかひとつのレイヤーに脆弱性が残るだけでサイト全体が侵害されるリスクがあります。すべてのレイヤーを継続的に保護する多層防御が不可欠です。

2. 運用人材の不足と対応の属人化

脆弱性対応・バージョン更新・監視には専門知識が求められますが、人材は慢性的に不足。担当者の異動や退職でセキュリティ運用が停止するリスクも顕在化しています。

3. 「導入時のセキュリティ」と「運用のセキュリティ」のギャップ

構築時に対策を施しても、更新が止まれば脆弱性は蓄積します。必要なのは初期構築の堅牢さではなく、セキュアな状態を継続的に維持できる仕組みです。

これらは Web サイトを公開するすべての組織に共通する課題です。とりわけ、国内上場企業の CMS 採用で TOP10 合計の約 84%を占める WordPress^(※4) は、その普及規模ゆえに対策の重要性が一層高まっています。当社は企業向け WordPress プラットフォーム「KUSANAGI」の開発・提供元として、この社会的課題の解決に貢献すべく「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」を開発しました。個別の運用努力ではなくセキュリティ対策を「環境の標準機能」として継続できる仕組みを提供します。

(※2) (<https://cloud.google.com/blog/ja/topics/threat-intelligence/time-to-exploit-trends-2023?hl=ja>)

(※3) Mandiant「M-Trends 2026」(<https://cloud.google.com/blog/topics/threat-intelligence/m-trends-2026>)

(※4) 出典：DataSign Inc. 上場企業 CMS 調査レポート 2025 年 8 月度

【「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」の概要】

「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」は、KUSANAGI の高速化などの基本機能に加え、以下のセキュリティ運用機能とサポートサービスを標準装備しています。

■セキュリティ機能

- **脆弱性への対応を自動化「OS・ミドルウェア自動アップデート」**：KUSANAGI や OS の更新パッケージを自動適用し、セキュリティ更新を自動化。スケジューラーによる時間指定にも対応し、運用に合わせた制御が可能です。
- **サイトを止めずに更新「SafeUpgrade（無停止バージョンアップ）」**：nginx / PHP のメジャーバージョンアップをサイトを停止することなく実行できます。
- **日々の脅威を自動検知「マルウェア・ウイルス対策」**：WordPress 向けに負荷を軽減したスキャン

をデイリーで自動実行します。

- **不正ログイン・改ざんリスクを検知「セキュリティ監査」**： ファイル改ざんリスクや不正ログインのリスクや失敗数を検知する監査機能を搭載。WordPress 特化の監査にも対応しています。
- **アクセスを制限「IP 制限 / Basic 認証」**： IP アドレスリストによるアクセス制御、および Basic 認証を簡単に設定できます。
- **複数サーバーのセキュリティ状況を一元管理「KUSANAGI Portal」**： 「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」を導入した複数サーバーのセキュリティ状態・更新状況を可視化し、レポートとして確認できる無償ツールを提供します。

■ サポートサービス（バンドル提供）

- 利用者ポータルによる 24 時間 365 日の受付。対応は営業日 9:00～17:00（日本語・英語）。
- KUSANAGI 9 の対応 OS ^(※5) のサポート終了（EOL）まで、KUSANAGI が提供する各種モジュール（nginx、PHP 等）のアップデートを保証。
- 最新版 WordPress の動作保証。

(※5) AlmaLinux OS 9 / Red Hat Enterprise Linux 9

■ AI を活用した運用支援

- WordPress 用 AI アシストプラグインを同梱。プラグインやサーバーの状態を AI に相談でき、MCP 接続にも対応しています。
- KUSANAGI コマンド結果の JSON 出力に対応し、AI との連携を容易にします。

【想定される利用シーン】

- **管理サイトの増加でセキュリティ統制が追いつかない**： 事業部門ごとに WordPress サイトが分散し、更新状況を横断的に把握できない企業に。KUSANAGI Portal と自動アップデートにより、組織全体のセキュリティ水準を均一に維持できます。
- **止められないサイトのバージョンアップが後回しになっている**： EC や会員ポータルなど可用性が最優先のサイトで、バージョンアップが先送りされ脆弱性が蓄積するケースに。SafeUpgrade により、サービスを停止せずに nginx / PHP のメジャーバージョンアップが可能です。
- **セキュリティ専任者がおらず、対応が属人化している**： 専任のセキュリティ人材を確保しにくい企業に。自動アップデート・デイリースキャン・セキュリティ監査が標準装備されているため、特定の担当者に依存することなく、導入直後から継続的なセキュリティ運用を実現できます。

【ご利用料金】

料金・契約項目	詳細
月額料金目安	約 50,000 円（約 330 米ドル）（税別） （1 か月 720 時間連続稼働の場合）
課金単位	1 サーバーにつき 1 ライセンス（CPU コア数による追加課金なし）
契約形態	時間従量課金制または月額課金制（ライセンス料・サポート料を含む）
対応 OS	AlmaLinux OS 9、Red Hat Enterprise Linux 9

※上記は「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」のライセンス料およびサポート料です。これらはクラウドサービスの利用料金と合算の上、各クラウド事業者またはホスティング事業者より請求されます。

※Red Hat Enterprise Linux 9 版のご利用をご希望のお客様は、別途当社お問い合わせ窓口までご相談ください。

【提供チャネル】

主要クラウドマーケットプレイスおよび国内ホスティング事業者を通じて提供いたします。なお、国内ホスティング事業者については順次拡大予定です。

区分	提供先	無料トライアル	トライアル期間中のクラウド/VPS 利用料金	申込方法
クラウドマーケットプレイス	AWS / Microsoft Azure / Google Cloud	1 か月間	別途発生	各マーケットプレイスから
国内ホスティング事業者	ConoHa VPS byGMO (GMO インターネット株式会社)	1 か月間の無料クーポンあり	無料	下記、製品紹介サイトから

製品紹介サイト：<https://kusanagi.tokyo/kusanagi-enterprise-edition>

【今後の展開】

当社は、「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」を軸に、以下の機能拡充・基盤整備を計画しています。

「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」に同梱する AI アシストプラグインに加え、今後はアクセスログ・エラーログの AI 解析支援機能の提供を予定しています。AI を活用した運用支援により、障害の原因究明や日常的なサーバー管理の効率化をさらに推進してまいります。

また、サイバー攻撃の高度化・AI 活用による脅威の変化に対応し、「KUSANAGI Enterprise Edition byGMO」のセキュリティ機能を継続的にアップデートしてまいります。企業の WordPress サイトが「継続的にセキュアな状態」を維持できる Web 基盤の実現を目指します。

【KUSANAGI について】

「KUSANAGI」は、GMO プライム・ストラテジーが開発・提供する超高速 CMS 実行環境です。WordPress をはじめとする CMS を高速・安全に稼働させることに特化し、ページキャッシュ利用時には一般的なサーバー^(※6)と比較して最大約 260 倍、キャッシュなしでも約 2 倍の高速化を実現します。1/4 のコストの仮想マシン (VPS) でも同等以上の処理能力を発揮し、インフラコストの大幅削減に貢献します。AWS・Microsoft Azure・Google Cloud など主要クラウドのマーケットプレイスで提供しており、2015 年のリリース以来、国内外の企業・官公庁・メディアサイトで広く採用されています。現在では世界 39 か国・218 リージョンで利用可能となり、累計稼働台数は 10 万台を超えています。

(※6)比較条件：OS AlmaLinux 8.9、Microsoft Azure Standard D4as_v5 インスタンス (3.24GHz AMD EPYC 7763、4vCPU、16GiB)、Premium SSD LRS、東日本リージョン、PHP 8.0.30、Nginx 1.20.1、MariaDB 10.5.22、WordPress 6.4.2

【GMO プライム・ストラテジーについて】

GMO プライム・ストラテジーは「すべてはエンタープライズ OSS エコシステム発展のために」を企業理念に掲げ、社会的課題をテクノロジー中心の仕組みにより解決し、社会的価値を創造することを目指し

ています。

Web 高速化ソリューション「KUSANAGI Stack」を開発、主要クラウド等から提供するほか、WordPressをはじめとする CMS、およびサーバーの保守管理を一貫体制で提供するフルマネージド型のサポートサービス「KUSANAGI マネージドサービス」やクラウドインテグレーションサービス、ライセンスの各サービスを提供しています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO プライム・ストラテジー株式会社
担当：相馬
TEL：03-6551-2995（代表）
<https://www.prime-strategy.co.jp/contact-us/>

【本ソリューションに関するお問い合わせ先】

- GMO プライム・ストラテジー株式会社
ライセンス事業部
<https://www.prime-strategy.co.jp/contact-us/>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 望月
TEL：03-5456-2695
お問い合わせ：<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO プライム・ストラテジー株式会社】（URL：<https://www.prime-strategy.co.jp/>）

会 社 名	GMO プライム・ストラテジー株式会社（東証スタンダード 証券コード：5250）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 12 番 10 号 住友不動産渋谷インフォスアネックス 3 階
代 表 者	代表取締役社長 吉政 忠志
事 業 内 容	KUSANAGI Stack 事業 ・マネージドサービス ・クラウドインテグレーションサービス ・ライセンス KUSANAGI Stack の開発と提供 ・超高速 CMS 実行環境「KUSANAGI」 ・高速化エンジン「WEXAL® Page Speed Technology®」 ・戦略 AI「ONIMARU® David」
資 本 金	453,798 千円（2025 年 11 月末時点）

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：<https://group.gmo/>）

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム 証券コード：9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■インターネットインフラ事業 ■インターネットセキュリティ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

※記載されている社名、製品名などの名称は、米国およびその他の国で登録された各社の商標または登録商標です。

Copyright (C) 2026 GMO Prime Strategy Co., Ltd. All Rights Reserved.